



大圧協新聞

大阪生コンクリート圧送協同組合

〒552-0007

大阪市港区弁天1-6-8 オレンジビル2F

(TEL) 06-6599-5530 (FAX) 06-6599-5537

(Email) pump@daiatsukyou.com

(URL) http://www.daiatsukyou.com/

11月1日よりコンクリート圧送基幹技能者

制度が発足します。

本年7月、全国コンクリート圧送事業団体連合会(全圧連)は「コンクリート圧送施工技能士」検定試験漏洩にかかる(職業能力開発促進法・秘密保持義務違反)容疑で3名の逮捕者を出し、罰金の略式命令で終わった。この事件は、圧送業界に組織運営の根幹にコンプライアンスを据えることをあらためて決意させた。全圧連は、9月13日新しい会長を選出、再出発をした。

〈あらためての決意〉

大圧協は、前号で声明(深い反省と再生への決意)を出した。さらに、今号で再度触れるのは、お客様(ゼネコン・販売店・エンドユーザー各位)に対するアカウンタビリティがあると考えているから。不祥事として隠すのではなく、自らの社会的責任を明らかにし、今後の方向性を示すことが、お客様への誠意と考える。

全圧連は本来、「良質のコンクリート構造物の提供を目指す」団体である。そのため

「全圧連再生の要にコンプラ

良質のコンクリート構造物の提供という一点をはずすな、建前や名目とするな、本気で正面に位置付けろ、安全施工と技術研究や技能者養成を怠るな、という警告として受け止めている。

また、全国の圧送業者は釈放された3名が発せられた

「全圧連再生の要にコンプラ

イアンスを置いて欲しい」というメッセージを、その悲痛な思いと共に受け取った。

〈技能者制度の発足〉

折しも、全圧連は11月1日より、コンクリート圧送基幹技能者制度をスタートさせる。受験資格はコンクリート圧送技能士1級の有資格者、職長教育修了者、実務経験10年以上の者というハードルの高い条件であり、試験の合格基準も厳しくなっている。第三者の「認定委員会」が合否判定を行う。現在の高度化する現場ニーズに見合った技能者として、新たに登場する。ゼネコン各位には「理解と適切な利用をお願いしたい」。

〈新会長の交接〉

以上の経緯を踏まえた上で、新会長が選出された。佐藤勝彦会長は、全国の圧送業界の中でトップクラスのヤマコ(及びグループ)の代表であり、昭和41年からポンプ工法を手掛けた草分け的存在である。

全圧連及び、専門工事業の一員である会員各位を取り巻く環境を考えると、我が国の経済は一時の踊り場を脱却して更に成長の度を増していると報じられております。なかんずく株式市場は歴史的な高値を続けており、空前の活況であるとか。更にはIT関連や素材、自動車産業等々、目覚ましい発展を上げている企業が数多く出ております。

反面、建設業界においては総工事は年々共に減少を続け、かつての最盛期の半分近くに縮小しているといわれております。特に公共投資は年率3〜5%づつ削減され、今後数年間は継続されることが決定されていることは衆知の通りであります。

この事は、北海道や東北あるいは九州地区等の一次産業の比率の高い地域では、公共投資に対する依存度が多く、それが全国一律に削減されていることは、地方経済にとって大きな打撃となって衰退を余儀なくされているのが現状です。

一方において大都会や都市部と地方の格差は拡大の一途をたどり、圧送工事量について

もその差は歴然としており、都市部ではバブル期を凌ぐような需要の高まりがあり、配車に困難を来している状況であります。一方、地方では僅かな発注工事に圧送業者が群がり過剰な受注合戦を演じており、売り叩き、安値受注に走り、ついには発注側により指値発注や過度な安全作業や車輦点検等の要求となつて、大きくコスト割れを生じております。

更に、最近の原油の異常な高騰による燃料油価格更に圧送部品等の数値に値上げは、もはやコスト吸収力は皆無となり売値への転嫁も至難であります。老朽化の進むポンプ車を抱え、更新の余裕もないまま事業としての存続すら危惧される状況となっております。

全圧連として取り組まなければならない課題は山積しておりますが、何から取り組むべきか、どのようにするのか、いつ迄にするのか、もう一度原点に返って検討して行きたいと思っております。

この度、去る9月13日に開催されました全圧連臨時会員総会の席上にて、社団法人全国コンクリート圧送事業団体連合会の第5代会長にご指名を賜りました、山形県佐藤勝彦でございます。



全圧連会長
佐藤 勝彦

長い歴史と伝統に培われ数多くの事業と輝かしい業績を成し遂げて参りました、全圧連の会長職に御推挙を頂きました事は身に余る光榮であります。しかし、その責任の重大さを思う時身の引き締まる思いで一杯でございます。

全圧連及び、専門工事業の一員である会員各位を取り巻く環境を考えると、我が国の経済は一時の踊り場を脱却して更に成長の度を増していると報じられております。なかんずく株式市場は歴史的な高値を続けており、空前の活況であるとか。更にはIT関連や素材、自動車産業等々、目覚ましい発展を上げている企業が数多く出ております。

反面、建設業界においては総工事は年々共に減少を続け、かつての最盛期の半分近くに縮小しているといわれております。特に公共投資は年率3〜5%づつ削減され、今後数年間は継続されることが決定されていることは衆知の通りであります。

この事は、北海道や東北あるいは九州地区等の一次産業の比率の高い地域では、公共投資に対する依存度が多く、それが全国一律に削減されていることは、地方経済にとって大きな打撃となって衰退を余儀なくされているのが現状です。

一方において大都会や都市部と地方の格差は拡大の一途をたどり、圧送工事量について

もその差は歴然としており、都市部ではバブル期を凌ぐような需要の高まりがあり、配車に困難を来している状況であります。一方、地方では僅かな発注工事に圧送業者が群がり過剰な受注合戦を演じており、売り叩き、安値受注に走り、ついには発注側により指値発注や過度な安全作業や車輦点検等の要求となつて、大きくコスト割れを生じております。

更に、最近の原油の異常な高騰による燃料油価格更に圧送部品等の数値に値上げは、もはやコスト吸収力は皆無となり売値への転嫁も至難であります。老朽化の進むポンプ車を抱え、更新の余裕もないまま事業としての存続すら危惧される状況となっております。

全圧連として取り組まなければならない課題は山積しておりますが、何から取り組むべきか、どのようにするのか、いつ迄にするのか、もう一度原点に返って検討して行きたいと思っております。

圧送料金表改定のご案内とお願い

一昨年より、大圧協は「中小企業等協同組合法」に基づく共同経済事業として、共同受注事業と、コンクリートポンプ車標準圧送料金表（平成15年11月版）による現金収受を果たしてきた。ゼネコン・名義人・販売店各位のご理解の賜物である。しかし、累積された過去の安値競争による体力消耗や重なるコストアップ要因により、あらためての料金改定（平成17年10月版／10月1日より実施）をお願いしている。

圧送工事業は、国家試験を含む高度な知識と技量を必要とする技術者が不可欠（資格保有義務）。また、安全安心なコンクリート構造物を提供する社会的責任と建設仕様の高度化や高性能生コンなどに對する技術対応能力が求められている以上、品質管理と技術力の向上は不可欠。さらに、危険を伴う圧送工事であるため（最近も他府県業者のポンプ車による死亡事故が発生）、安全管理には最善を尽くさなければならない。

大圧協は、従来の技能者養成に加え、より技能と管理・調整能力の高いコンクリート圧送基幹技能者を養成。また、圧送技術研究会やブーム車の超音波探傷検査などの技術力向上・安全管理事業にも取り組んでいる。社会保険加入や労働基準法遵守など各種法令順守を徹底。加えて、高額のコンクリートポンプ車のNOX・PM法や老朽化による待ったなしの買換え、近年の高強度生コン多用や骨材事情の変化に伴う車輛・配管などの極端な損耗による負担増、軽油の高騰等々、コスト増要因は目白押しである。

しかし、事情はゼネコン各位も同様である。と承知している。そこで、料金表の一部見直しという最小限度の改定（機種の明確化と圧送経費の見直し）をお願いする。10月1日実施にあたり、旧単価と新単価が錯綜するのでも、従来価格のまま、お間違えのない様お願いしたい。

まず、すでに着工し、現在工事中の物件については、10月を過ぎても、従来価格のまま、次に、原則として10月1日以降に初めてコンクリート圧送工事をする物件（9月末日までに着工した物件）も打っていけば旧単価について新単価となる。但し、長期計画の物件や公共工事などですでに積算の済んだ物件などで、新しく単価計算できないものについては、調整をさせて頂く。調整未済の各社は、10月末日までに調整物件を明らかにして頂きたい。それ以降は対応できなくなる。すでに、大手ゼネコンを筆頭に大筋で了解を頂いた。物件調整もかなり進んできた。円満な軟着陸をお願いしたい。

最後に、大圧協は今後、インフレなどの特段の事情がない限り、当面この17年度版料金表（基本料金と圧送経費）を遵守する。

コンクリートポンプ車標準圧送料金表

積算方式 基本料金（機械損料＋労務費）＋ 圧送経費（圧送数量 × 単価）＋ 別途料金

区 分	A	B	C	D
機 種	スクィーズ 2tB スクィーズ 4tB	ピストン 4tB ピストン 5.5tB スクィーズ 8tB 3段	ピストン 4t・8t配管車 スクィーズ 8tB 4段 ピストン 8tB ピストン 10tB	10t 超 B (33m・36m)
基本料金	50,000円	60,000円	70,000円	80,000円
圧送経費	100㎡以下 250円/㎡ 100㎡超 500円/㎡	500円/㎡	500円/㎡	別途料金
別途料金	別途料金表金額			
※	10t超B36mを超える機種については別途協議願います			

【標準圧送料金の構成】

機械損料	①償却費	定期整備費 修理費
	②維持修理費	
	③機械管理費	格納保管等経費 租税公課 保険料
労 務 費	①基準手当	
	②基準外に属する手当	
	③法定福利費	
圧送経費	①燃料・油脂費	
	②消耗部品費	
	③雑品費（安全保護具、機械の運転に必要な副費）	
	④現場管理費（協力会費・営業経費に属するもの）	
	⑤一般管理費（企業運営費・利益）	

【標準圧送料金変更表】

（基本料金）

項 目	変更前	変更後
ピストン 4tB 基本料金	50,000円	→ 60,000円
ピストン4t配管車 基本料金	50,000円	→ 70,000円
ピストン8t配管車 スクィーズ8tB 4段 ピストン 8tB 基本料金	60,000円	→ 70,000円
10t超B(33・36M) 基本料金	70,000円	→ 80,000円

（圧送経費）

項 目	変更前	変更後
スクィーズ2tB～4tB	（変更なし）	
上記以外の4tB～8tB 車及びピストン10tB	100㎡以下 250円/㎡ 100㎡超 500円/㎡	→ 500円/㎡
10t超B(33・36M)	500円/㎡	→ 別途料金

※ 表中のBはブーム